



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1116 2018年3月26日

ARIBからのお知らせ

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに1件の英語翻訳版を公開しました。

放送分野

規格番号等	標準規格名等
STD-B58	超高精細度テレビジョン信号スタジオ機器間インタフェース規格 標準規格
	Interface for UHD TV Production Systems ARIB STANDARD

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものであることを示します。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIBの動き

APG-19 第3回会合に参加

APG-19 第3回会合が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 APG-19 (APT Conference Preparatory Group for WRC-19)

APG-19 は、2019 年に開催される世界無線通信会議 (WRC-19) に向けて、アジア・太平洋電気通信共同体 (APT: Asia-Pacific Telecommunity) の共同提案 (APT Common Proposal) を作成することを所掌しており、2019 年 7 月の最終会合までに全 5 回予定されています。今回は第 3 回の会合 (APG19-3) となります。

議長は、Dr. Kyu-Jin Wee (韓国)、副議長は Mr. Xiaoyang Gao (中国) と Mr. Neil Meaney (オーストラリア) が務めています。

2 会合の概要

- ・日程 : 2018 年 3 月 12 日 (月) ~ 16 日 (金)
- ・場所 : オーストラリア パース
Rendezvous Hotel Perth

- ・参加者：24ヶ国から約398名が参加（日本は、総務省国際周波数政策室 木村室長を団長に57名が参加、当会から西岡、佐藤、小山、加藤の4名が参加）



APG-19 第3回会合の様子

3 主要結果

今会合では、WRC-19の各議題におけるAPT共同提案の策定に向け、前会合に引き続きそのベースとなるAPT暫定見解文書案を更新しました。下記に、主な議題における審議結果を示します。

- (1) 議題 1.11：移動業務へ分配済の周波数帯域における列車・線路間の鉄道無線通信システム（RSTT）を支援するための周波数調和の促進

現在ITU-Rにて周波数利用の調和に向けた検討が行われている段階であり、本会合では引き続きITU-Rにおける検討を支持すると共に、RSTTの周波数調和は他の一次業務に制限を与えないこと、ITU-RにおけるRSTTの検討は特定の技術に制限されないこと、RSTTの周波数調和の検討は国境での鉄道運用をサポートすること、を暫定見解としました。

また、WP5Aに対する、CPMテキスト案への修正提案（新決議にITU-R勧告M.[RSTT_FRQ]の改定を含めることを明記する選択肢を追加）を合意しました。

- (2) 議題 1.12：移動業務へ分配済の周波数帯域におけるITSの推進のための世界的あるいは地域的な周波数利用の調和に向けた検討

現在ITU-Rにて周波数利用の調和に向けた検討が行われている段階であり、本会合では引き続きITU-Rにおける検討を支持すると共に、ITS発展はLTE based V2Xを含む特定の技術に制限も排除もされることがないこと、ITSによる周波数利用は他に既に使用されている一次業務に更なる制限を与えないこと、及び移動衛星業務地球局上りリンクを含む他の一次業務からの干渉に対して適切に考慮すること、を暫定見解としました。

- (3) 議題 1.13：将来のIMTの開発のためのIMT用周波数特定の検討

本議題は、24.25GHzから86GHzまでの11の候補帯域を対象にIMT割当を検討する

ものです。現在 IUT-R にて検討に必要な他業務との共用検討が行われている段階であり、本会合では引き続き ITU-R での検討を支持すると共に、共用可能な検討結果となる前提で IMT 特定に向け 24.25-27.5GHz を優先すること、他業務との周波数のオーバーラップについては WRC-19 での提案に基づき議論されるべきであること、を暫定見解としました。

(4) 議題 1.15 : 275-450GHz の能動業務への特定に関する検討

現在 ITU-R にて周波数利用の調和に向けた検討が行われている段階であり、本会合では受動業務の保護がなされることを前提に引き続き ITU-R における検討を支持すると共に、周波数特定の際には Radio Regulation の該当箇所に新たな脚注を追加すること、を暫定見解としました。

(5) 議題 1.16 : 5150-5925MHz 帯における無線 LAN を含む無線アクセスシステムに関する規制措置の検討

現在 ITU-R にて周波数利用の調和に向けた検討が行われている段階であり、本会合では引き続き ITU-R における検討を支持すると共に、5,150-5,350 MHz, 5,350-5,470 MHz, 5,725-5,850 MHz, 5,850-5,925 MHz における現行サービス（計画中含む）が保護されること、5,350-5,470 MHz について Radio Regulation に変更を行わないこと、を暫定見解としました。

(6) その他

AWG へのリエゾンとして、下記の文書を合意しました。

ア 議題 9.1 課題 9.1.8 (マシンタイプコミュニケーションの導入のための周波数協調を含む、無線ネットワーク及びシステムの技術的・運用的側面及び周波数需要の研究) 関連 :

Information on AWG's work on IoT/MTC

イ WRC-23 新議題関連 :

Identification to use HAPS as base stations to provide IMT in the frequency bands around and below 2GHz

4 次回会合予定

今後の会合として下記が予定されています。

第 4 回 : 2019 年 1 月 7-12 日 韓国 CPM19-2 提案の完成、APT 暫定見解の更新

第 5 回 : 2019 年 7 月 31 日-8 月 6 日 日本 APT 共同提案の完成

今週の ARIB 内会合 (3 月 26 日~3 月 30 日)

3 月 27 日 (火) ~3 月 28 日 (水) : 総務省主催、ARIB/5GMF 共催「5G 総合実証試験の成果とその展開」に関する国際シンポジウム (お台場 東京国際交流館)

3 月 28 日 (水) : スタジオ設備開発部会 HDR 番組制作・運用 AdHoc

3 月 30 日 (金) : スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班

3 月 30 日 (金) : スタジオ設備開発部会 評価シーケンス作業班

3 月 30 日 (金) : 第 262 回技術委員会 (放送分野)

今週の国際会合（3月26日～3月30日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電波法施行規則の一部を改正する省令案等に関する意見募集 －5GHz帯無線LANの利用拡大等に向けた制度整備－

【平成30年3月16日発表】

平成27年12月より情報通信審議会において、5GHz帯無線LANの利用拡大に向けた「5GHz帯無線LANの使用周波数拡張等に係る技術的条件」について審議が行われ、総務省は、平成30年2月13日（火）に情報通信審議会から一部答申を受けました。

これを踏まえ、総務省は、5.2GHz帯高出力データ通信システムの導入及びその他規定の整備を行うため、電波法施行規則等の一部を改正する省令案等を作成しましたので、平成30年3月17日（土）から同年4月16日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については[【平成30年3月16日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

無線設備規則の一部を改正する省令案等についての意見募集

【平成30年3月20日発表】

総務省では、平成30年2月13日（火）に9GHz帯航空機搭載型合成開口レーダーシステムの無線設備に関する技術的条件について、情報通信審議会から一部答申を受けました。

これを踏まえ、総務省は、当該システムを導入するため、無線設備規則（昭和25年電波監理委員会規則第18号）の一部を改正する省令案等を作成しましたので、平成30年3月21日（水）から同年4月19日（木）までの間、意見を募集しています。

詳細については[【平成30年3月20日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp